大阪府立大学人間社会学部「文学とジェンダー」共同研究プロジェクト

ミニシンポジウム開催のお知らせ

文学とジェンダー

日時：2014 年 10 月 31 日（金）
午後 2 時～午後 5 時
場所：A15 棟2階中会議室

2 時～3 時

『土左日記』のジェンダー

青木賜鶴子

「男もすなる日記といふものを女もしてみむとてするなり」と書き出される『土左日記』は、紀貫之が女性の立場で書いたものですが、所々に貫之の男性性がにじみ出ているとも言われます。『土左日記』のジェンダーの問題について、従来の説を紹介しながら考えてみたいと思います。

3 時 10 分～4 時 10 分

中国の勉強する女性たち

大平桂一

古代の大知識人で兄の後を継いで漢書を完成させた曹大家、晋代の詩人謝道韞、中世の詩人薛濤、魚玄機、近世の学者趙明誠の妻で天才的な詞を書いた李清照、近代の偉人で中国最初の女性の自伝を書いた楊歩偉等、中国史上に絢爛と輝く、勉強する女性達の肖像を探ります。

4時 20 分～5時　**自由討論**

※参加は無料ですが、事前にメールまたは葉書で下記までお申し込み下さい（講演会の後、近くのレストランで懇親会を予定していますので、懇親会参加の有無も合わせてご連絡下さい。懇親会の出欠は 10 月 24 日(金)までにお願いします)。

問い合わせ・申込み先：
人間社会学部　村田京子（bal@hs.osakafu-u.ac.jp）〒599-8531 堺市中区学園町 1 番 1 号